【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-16538(P2015-16538A)
【公開日】平成27年1月29日(2015.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2015-006
【出願番号】特願2013-146754(P2013-146754)
【国際特許分類】
Ｂ２４Ｂ　27/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/304　(2006.01)
Ｂ２８Ｄ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２４Ｂ　27/06　Ｆ
Ｈ０１Ｌ　21/304　６１１Ｗ
Ｂ２８Ｄ　5/04　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成28年7月13日(2016.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
前記ワイヤソーとして、シリコンカーバイドやダイヤモンド等の砥粒が混合されたスラリを供給しながらワークを切断する遊離砥粒方式のワイヤソーと、ワイヤ表面にダイヤモンド等の砥粒が電着やレジン等で固定された固定砥粒ワイヤを用い、切断部近傍に水等の加工液を供給しながらワークを切断する固定砥粒方式のワイヤソーとが知られている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項１の発明は、ワイヤを複数本の溝ローラ間に巻き回すことにより形成されたワイヤ列と、前記ワイヤ列にワークを押し付けるワーク保持テーブルと、前記複数の溝ローラが一体に軸支された揺動ブロックとを備え、前記ワイヤ列に前記ワークを押し付けることにより該ワークを切断するワイヤソーであって、
前記揺動ブロックは、前記複数の溝ローラを一体に揺動円弧運動するように構成され、
前記ワーク保持テーブルは、前記ワークをワイヤ列に押し付ける昇降動と、前記ワークをワイヤ列のワイヤに沿って移動させる水平動とが自在に構成され、
前記揺動ブロックの揺動円弧運動に伴って、前記ワーク保持テーブルを切断部のワイヤの負荷が低減する方向に水平動させるようにした構成を採用したワイヤソーである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】

請求項２の発明は、ワイヤを一方向又は往復走行させるとともに、前記ワイヤを揺動円弧運動させながら、ワーク保持テーブルに保持されたワークを押し付けて該ワークを切断するワイヤソーでの切断加工方法であって、

前記ワイヤの揺動円弧運動に伴って、前記ワーク保持テーブルを切断部のワイヤの負荷が低減する方向に水平動させるようにした構成を採用した切断加工方法である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】

Ｗ　ワーク
Ｗａ　既切断部分
Ｗｂ　未切断部分
Ｗｃ　負荷部分
１　ワイヤソー
２　供給リール
３　回収リール
４　ワイヤ
５　トラバースプーリ
６　ガイドプーリ
７　テンションアーム
８　テンションローラ
９ａ　溝ローラ
９ｂ　溝ローラ
１０　テンションアーム
１１　テンションローラ
１２　ガイドローラ
１３　トラバースプーリ
１４　ロードセル
１５　ロードセル
２０　揺動ブロック
２１　駆動プーリ
２２　タイミングベルト
２３　モータ
２４　ベアリング
２５　機枠
２５ａ　モータ固定枠
２５ｂ　開口部
２６　支持枠
２７　揺動軸芯
２８　モータ
３０　ワーク保持機構
３１　ボールネジ
３２　支持枠
３３　モータ
３４　駆動プーリ
３５　従動プーリ
３６　ベルト
３７　レール

３８　支持ブロック
３８ａ　支持軸
３９　ナット部材
４０　スライダ
４１　昇降枠
４２　レール
４３　スライダ
４４　ワーク保持テーブル
４５　ナット部材
４６　ボールネジ
４７　ダミー部材
４８　モータ
５０ａ　溝ローラ
５０ｂ　溝ローラ